

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

“脈の日”をごぞんじですか？

中山 博文

(中山クリニック 院長)

2年前、小生が専務理事をしている日本脳卒中協会は、3月9日を“脈の日”として日本記念日協会に登録しました。3(みゃ)9(く)という語呂合わせです。そして、日本脳卒中協会と日本不整脈心電学会は、この日から1週間を心房細動週間として、昨年から市民啓発活動を開始しました。

その背景には、心房細動を放置すると3割の方が脳梗塞、しかも重症の心原性脳塞栓をおこすこと(死亡率2割、歩行に介助を要したり、寝たきりになる人4割)や、人口の高齢化によって心房細動患者がどんどん増えていることがあります(推計約90万人)。心房細動による脳梗塞は抗凝固療法によって7割を予防できるにもかかわらず、実際に抗凝固療法を受けている方は少なく、心房細動から脳梗塞を発症した方の7割の方は抗凝固療法を受けておられなかったことが分かっています。

なぜ心房細動患者に抗凝固療法が普及しないのでしょうか。その理由は3つあります。第一に、心房細動の半数は無症候で自覚症状がでにくく、また、半数は発作性であるために自覚症状があっても放置されやすいこと(註：発作性の場合も持続性の場合も、脳梗塞の発症リスクは同じです)。第二に、心房

細動を放置すると脳梗塞を生じることや抗凝固療法によって大部分の脳梗塞を予防できることが知られていないために、受診しなかったり、処方された抗凝固薬を自己判断で中断する人が多いこと。第三に、医師の側の知識不足によって、せっかく受診されても抗凝固療法の適応を検討しないことです。

では、どうすればよいのか。対策は5つあります。第一に、市民啓発によって“脈とり”(脈の自己触診)を普及して、脈の不整を感じたら受診することを普及すること。第二に、特定健診、後期高齢者健診、企業健診などの機会に必ず脈拍触診(できれば心電図検査)をしていただき、脈の異常がみつかったら受診につなげること。第三に、日常診療の際に脈拍触診をすること。第四に、心房細動のリスク(中高年、心筋梗塞・心臓弁膜症、飲酒習慣、肥満など)のある人に定期的に心電図検査を行うこと。第五に、病診連携により、心房細動がみつかったら循環器内科に紹介し、適応のある方に抗凝固療法を導入していただき、落ち着いたらかかりつけ医がフォローすることを普及することです。

最近の研究で、心房細動があると認知症になるリスクが1.4倍高くなり、脳梗塞を発症

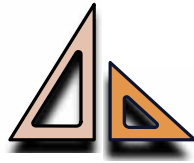


すると3倍になることが分かっています。要介護になる原因の第一位が脳卒中、第二位が認知症ですので、心房細動からの脳梗塞予防は、寝たきり予防、健康寿命の延伸に繋がります。

日本脳卒中協会と日本不整脈心電学会は、ホームページ (<http://www.shinbousaidou-week.org/>)、フェイスブック (<https://www.facebook.com/shinbousaidoushuukan/>) を開設していますので、御参照ください。ホームページから心房細動週間のポスターなどの啓発資材もダウンロードできます。3月12日には、読売健康講座として“脈とり”イベントも開催します。心房細動からの脳梗塞の予防の推進にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

facebook.com/shinbousaidoushuukan/) を開設していますので、御参照ください。ホームページから心房細動週間のポスターなどの啓発資材もダウンロードできます。3月12日には、読売健康講座として“脈とり”イベントも開催します。心房細動からの脳梗塞の予防の推進にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

理事会報告



◎平成 27 年度 2 月定例理事会

日 時 平成 28 年 2 月 26 日〈金〉

午後 8 時～10 時 20 分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 浪速区役所が行う在宅医療と介護の連携 基盤構築支援事業について

＜佐久間会長＞

資料に沿って久保田理事が説明を行った。
この事業は、浪速区役所が、本会がすでに実施している医療連携システム（iProject）に介護連携を融合させ、個人の医療情報、介護情報が共有できるようにするシステムを構築するものである。
本会として本事業を受託するか否かについて、協議願いたい。

協議の結果、了承。また、本支援事業の詳細については、浪速区役所に説明いただくこととなった。

2. ハーバータウンクリニックの管理医師交代について

＜佐久間会長＞

次のとおり、交代するとのことである。

退会 塚本 仁先生

27 年 4 月 1 日～28 年 1 月 31 日

9 ヶ月間。

就任 伴 啓彦先生

28 年 2 月 1 日～。

協議の結果、就任期間が短いので管理医師交代に伴う入会金は徴収しないこととなった。

3. 次期役員の選挙、総会開催日程について

＜佐久間会長＞

日程を決めたい。

協議の結果、本会にて 5 月 25 日〈水〉
午後 2 時から開催することに決定。

4. 平成 28 年度上半期分中央急病診療所出 務医師割当について

＜原田理事＞

資料のとおり、出務医師を調整した。

日 程		出務医師名
平成 28 年	4 月 19 日 火	深夜 22:00～30:00 竹中 裕昭
	5 月 7 日 土	準夜 15:00～22:00 西平 香代 佐伯 祐司
	6 月 16 日 木	深夜 22:00～30:00 篠原 嘉伸
	7 月 10 日 日	深夜 22:00～30:00 山口 貴也
	8 月 6 日 土	深夜 22:00～30:00 藤吉 理夫
	9 月 11 日 日	準夜 17:00～22:00 入野 宏昭 山田 郁子

協議の結果、了承

5. 産業医の推薦依頼（株式会社三菱電機ラ イフネットワーク関西本部）について

＜岡藤理事＞

標記事業所より産業医の推薦依頼があった。

事業所名 株式会社三菱電機ライフネット
ワーク関西本部

所在地 日本橋東 3-10-6

従業員数 135 名

メンタル面を診ていただける産業医を希望とのこと。

協議の結果、産業医より公募すること
となった。

6. その他

なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について

（2 月 26 日〈金〉）

＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷中央情勢報告について

▷連絡事項

(1) 日本医師会かかりつけ医機能研修制度の件

(2) 3月度行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

(詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会委員会について

(2月15日〈月〉) <佐久間会長>

次第は次のとおり。

▷協議事項

(1) 平成28年度事業計画(案)の件

(2) 平成28年度歳入歳出予算(案)の件

(3) 平成28年度会議日程(案)の件

▷連絡事項

(1) 大阪市民がん検診事業等にかかる年度末の取扱いの件

(2) 平成28年度大阪市立保育所嘱託医師委嘱の件

(3) 大阪市立学校園医、保育所嘱託医にかかるマイナンバー提出手続きの件

(4) 大阪市病児・病後児保育事業実施施設新規開設の件

(5) 大阪市立特別支援学校の府立移管に関する件

▷報告事項

(1) 大阪市障がい支援区分認定審査会合議体連絡会(1月21日)報告の件

(2) 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会(1月27日)報告の件

(3) 大阪市保健医療連絡協議会(2月5日)報告の件

(4) 大阪市医療機関結核健診の件

(詳細 略)

3. 第3回郡市区医師会学校保健担当理事連絡協議会について

(1月25日〈月〉) <澤井副会長>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷協議事項

(1) 学校保健安全法施行規則一部改正に伴う健診実施の件

(2) 学校教職員に対するストレスチェック実施の件

(詳細 略)

4. 医療安全推進指導者講習会について

(1月30日〈土〉) <澤井副会長>

次のテーマの講演があった。

▷テーマ メディエーション

講師 早稲田大学大学院 法務研究科
教授 和田 仁孝

▷テーマ 医療チームの安全を支える

ノンテクニカルスキル

～スピークアップと

リーダーシップ～

講師 大阪府医師会 医療安全推進
委員会 副委員長

大阪大学医学部附属病院

中央クオリティマネジメント部
部長・病院教授 中島 和江

(詳細 略)

5. 第37回法円坂地域医療フォーラムについて

(2月20日〈土〉) <有田副会長>

次第は次のとおり。

▷報告事項

(1) 第36回法円坂地域医療フォーラムについて

(2) 第37回法円坂地域医療フォーラムについて

▷議題

(1) 法円坂地域医療フォーラム開催について(案)

①第38回法円坂地域医療フォーラム

②第39回法円坂地域医療フォーラム

▷その他

(1) 病院からの報告

①病院の動きと取り組みについて

(2) その他

(詳細 略)

6. 浪速区認知症講演会について
(2月12日〈金〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。

▷認知症講演会

(1) あいさつ

(2) 講演 「認知症 –その脳と心の変化」

講師 なんば太田クリニック

太田幹夫

(3) 質疑応答

(4) 浪速区民生委員児童委員協議会からの
活動報告

▷在宅医療講演会

(1) あいさつ

(2) 講演 「訪問診療の流れと多職種との
連携」

～高齢者ができる限り住み慣れた
家庭や地域で療養しながら生活
を送れるように～

講師 なんば南藤吉医院 藤吉理夫

(3) 質疑応答

(4) まとめ

来場者数は、250名以上であった。

(詳細 略)

7. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議につ
いて

(2月17日〈水〉) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷「在宅医療講演会」の反省等について

▷その他

(詳細 略)

8. 第4回地域包括支援センター運営協議会
について

(2月23日〈火〉) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷あいさつ

▷委員、事務局の紹介

▷議題

(1) 地域支援計画について

(2) 地域ケア会議を分析することで見えて
きた課題についてのとりまとめ

(3) その他 (詳細 略)

9. 第64回近医連学校医研究協議会総会に
ついて

(1月24日〈日〉) <川田理事>

シェラトン都ホテル大阪で開催された。

次第は次のとおり。

▷開会式

▷総会

▷研究発表

▷昼食

▷講演

▷閉会式

(詳細 略)

10. 在宅連携合同会議について

(1月27日〈水〉) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷メディケアカード（医療介護連携カー
ド）の事業内容について

▷その他

(詳細 略)

11. 日医医療情報システム協議会について

(2月13日〈土〉～14日〈日〉)

<久保田理事>

次第は次のとおり。

▷プレミーティング

▷開会

▷地域医療連携セッション（～医療介護
連携は如何にすべきか？～）

▷日医 IT 戦略セッション

▷ランチョンセミナー ～スマートフォ
ンのセキュリティについて～

▷シンポジウム「～マイナンバーと医療
等 ID について～」

▷閉会

(詳細 略)

12. 第28回医療情報に関する講演会について
(2月18日〈木〉) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷講演

メインテーマ「IT 普及に伴う医療の効
率化の利点とその注意すべき点／IT

フェア」

座長 大阪府医師会医療情報委員会

委員長 川西克幸

- (1)「マイナンバー導入後の医療機関の状況について」

大阪府医師会理事 武本優次

- (2)「医療分野等 ID 問題について(仮題)」

日本医師会・医療分野等 ID 導入に関する検討委員会委員長

東京大学大学院医学研究科医療経営政策学口座特任准教授 山本隆一

- (3)「ORCA (日医標準レセプトソフト)からの報告」

日本医師会総合政策研究機構 (日医総研) 主席研究員 上野智明

▷閉会

(詳細 略)

13. 郡市区医師会医業経営担当理事連絡協議会(税務説明会)について

(1月26日(火)) <木田理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷説明

- (1)「平成27年分の確定申告の留意点等について」

大阪国税局 課税第1部 個人課税課実務指導専門官 下前淳博

- (2)「平成27年分の確定申告」ならびに中央情勢について

大阪府医師会理事 北村良夫

▷その他

▷閉会

(詳細 略)

14. 予算委員会について

(2月23日(火)) <木田理事>

2月までの収支をもとに予算について協議したが、次年度の事業について不確定なものがあるため、引き続き協議をすることとなった。

次回、理事会に提出予定。

15. 医療問題研究委員会について

(2月10日(水)) <中村理事>

次のテーマで意見交換を行った。

テーマ「医療事故調査制度について」

(詳細 略)

16. 病診連携委員会について

(1月25日(月)) <入野理事>

次第は次のとおり。

▷第70回病診連携委員会報告について

▷地域包括支援センターの取組みと医療連携について

▷本会の在宅医療連携の現状について

▷その他

(詳細 略)

17. その他

なし。

連絡事項

1. 大阪市の認知症初期集中支援推進事業におけるサポート医の協力依頼について

<佐久間会長>

橋本博史先生(はしもとクリニック)を推薦した。

2. 保健福祉センターの行う平成28年度3歳児健康診査等への医師派遣依頼について

<佐久間会長>

例年どおり、募集を行った。

3. 保健福祉センターの行う平成28年度精神福祉業務への医師派遣依頼について

<佐久間会長>

次の会員より内諾済みとのことであった。

家族教室:前田泰久先生(前田クリニック)

精神保健福祉相談:前田泰久先生(前田クリニック)、橋本博史先生(はしもとクリニック)

4. 災害時における連携に関する打合せ会(3月16日(水))への出席者について

<佐久間会長>

日時等は次のとおり。
日時 午後2時30分～3時
場所 浪速区役所
橋村理事が出席する。

次回理事会

平成28年3月25日〈金〉 午後8時～

2月度 学術講演会報告

日 時 2月20日〈土〉 午後2時
演 題 増加する肥満糖尿病患者の治療
講 師 独立行政法人国立病院機構 大阪
医療センター 糖尿病内科 科長
瀧 秀樹 先生

出席者数 14名
共 催 株式会社三和化学研究所
情報提供 高尿酸血症治療剤「ウリアデック錠」
担 当 富永良子

糖尿病治療の目的は、糖尿病性細小血管合併症と動脈硬化性病変を予防しQOLを改善させることである。

米国では、最近20年(1990年—2010年)で糖尿病患者の治療成績は改善したと報告している。血糖降下剤や降圧剤、脂質異常症治療薬の使用率は増加し、急性心筋梗塞、脳卒中の発生率は減少、下肢切断や腎透析導入も低率で推移している。日本でも、HbA1c値は1型、2型糖尿病ともに低下しているが、肥満の2型糖尿病が増加してきた。最近では肥満糖尿病患者の増加が問題となっている。

肥満症診断のフローチャート(日本肥満学会2011)は、BMI $25\text{kg}/\text{m}^2$ 以上で健康障害がなければ肥満、健康障害(睡眠時無呼吸症候群、腰痛・変形性関節症などの整形外科的疾患、糖尿病を含む耐糖能異常、冠動脈疾患、脳卒中等)を有せば肥満症と定義する。特にBMI $35\text{kg}/\text{m}^2$ 以上を高度肥満としている。肥満治療は、まず食事療法と運動療法で介入し体重を減らす。目標値設定は体重の減少率が3-5%以上で、血圧、血糖、脂質に良好な変化が現れると判明している。(例：80kgの患者なら4kg減)

The Look AHEAD (Action for Health in Diabetes) study は、米国の2001年から開始



した研究で、平均 60 歳、BMI 36kg/m² の 2 型糖尿病患者 5,145 名に体重減少をさせ、心血管病変に影響するか調べた。結果は影響しなかった。

食事・運動療法が困難な場合は Bariatric surgery (肥満外科手術) がある。

手術法は①腹腔鏡下スリーブ状胃切除術、②腹腔鏡下胃バイパス術、③腹腔鏡下スリーブバイパス術、④腹腔鏡下修正術があり、保険適応は①のみである。スウェーデンの報告では、手術により体重の減少率は元の体重の 30% で、生命予後も改善された。

自費治療は高額 (150 万円～195 万円) であるが、減量効果が確実であり、治療費や食費を考慮すると 5 年で元が取れる計算になっている。手術適応となる肥満症患者は年齢が 18 歳から 65 歳までの原発性 (一次性) 肥満であり、内科的治療を受けるも十分な効果が得られず、次のいずれかの条件を満たすもの。

1) 減量が主目的の手術 (Bariatric Surgery)

適応は、BMI35 以上であること。

2) 併存疾患 (糖尿病、高血圧、脂質異常症、肝機能障害、睡眠時無呼吸症候群など) 治療が主目的の手術 (Metabolic Surgery) 適応は、BMI32 以上であることである。

手術合併症は 5% 以下であるが、肺塞栓症、呼吸器不全、心不全、急性心筋梗塞、出血、縫合不全、通過障害等がある。死亡率は 0.2-0.3% である。術後はサプリメントの内服を要す。

経口血糖降下剤では、SGLT2 阻害薬がある。グルコースの再吸収量は大幅に減少する。利点は血糖値降下の有効性が高い、体重減、高血圧の是正で、欠点は脱水、腎血流量の低下、ヘマトクリット値上昇などがある。内臓脂肪が減るので、心血管イベントが減った。SGLT2 阻害薬の注意点は、sick day には脱水に注意し、十分な飲水を促すか、服用を控える。60 歳までの非高齢者で内臓肥満のある患者に適している。

4 月度学術講演会のお知らせ

4 月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成 28 年 4 月 16 日 (土)

午後 2 時～4 時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：機能性便秘の診断と治療 ～当院の

ルビプロストンの使用経験を踏まえて～

講師：大阪府済生会中津病院 消化器内科

江口 孝明 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。



浪速区医師会 活動の伝言板

平成 28 年 4 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

●保健福祉センター

4 月 28 日(木)午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

小児科 倭 和美

眼 科 山尾 信吾

耳鼻科 中村 泰久

B C G 接 種

●保健福祉センター

4 月 21 日(木) 午後 2 時～ 3 時 30 分

工藤俊次郎・北村 栄作

1歳6ヶ月児健康診査

●保健福祉センター

4 月 7 日(木) 午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

本田 秀明

急病診療所出務

●中央急病診療所

4 月 19 日(火) 深夜 22:00～30:00

竹中 裕昭



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



大阪府医師協同組合
<http://www.omca.or.jp>

[本部] 大阪市中央区上本町西 3-1-5 〒542-8580
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012

[南部出張所] 堺市堺区甲斐町南 3-2-26 堺市医師会館 1F 〒590-0953
TEL 072-223-6081(代) FAX 072-223-5094

この他にも、さまざまな事業を展開しています。

詳しくは



医 業

医療機器、医療消耗品からリフォーム、クリニック開業・医業継承支援まで、医業に関する幅広いサポートを行っています。
また、豊富な経験を持つ専門家による相談会も実施。

- 医療用品通販カタログ「GooDs」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー・パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



保 険

医業とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。スケールメリットを活かした割安な掛け金で、万一の事態に備えることができます。

- 損害保険・生命保険(団体割引有)



あとがき

竹中 秀裕

◆3月3日と言えば、一般的には「ひな祭り」、「桃の節句」を思い浮かべますが、「耳の日(33＝みみ)」でもあるそうです。昭和31年に日本耳鼻咽喉科学会が制定したもので、「難聴と言語障害をもつ人々の悩みを少しでも解決したいという、社会福祉の願いから始められた」というものです。このように語呂合わせで記念日を制定するのはよくあります。8月7日が「鼻の日」、11月12日が「いい皮膚の日」といった例です。

今回、3月9日が「脈の日」であることを巻頭言で教えて頂きました。この語呂合わせは、巻頭言氏の中山博文先生が考案されたものと伺っています。うまく考えられたものと感心していますが、これを機に多くの人が「脈とり」を行い、「心房細動」を知り、「脳梗塞」の予防につながることを期待するとともに、今後の中山先生のご活躍をお祈りします。ちなみに3月9日は「ありがとうの日」(Thank you)でもあります。

◆巻頭言中、抗凝固療法が普及しない3つの理由の1つに医師の知識不足があげられています。我々にとって耳の痛い話ではありますが、医師たる者、常に研鑽に励まねばならぬものと心得ます。最近ではテレビで医学番組が数多く放映され、患者さんの知識も豊富になってきています。先日も、ABCテレビ「みんなの家庭の医学」を見ていた患者さんに心房細動の治療で「高周波ホットバルーンカテーテル」の質問をされ、冷汗をかいた経験があります。

浪速区医師会でも毎月1回、本会主催の勉強会を開催していますが、参加者は本会々員よりも他地区会員の方が多い状態です。奮って参加するようにしましょう。

◆4月から診療報酬改定が行われます。今回の改定は「かかりつけ医の更なる評価」、「在宅医療の推進」、「医療機能分化等を評価」を

謳い文句にしていますが、実態はどのようなものでしょうか。各地で説明会が開催されていますが、浪速区医師会での説明会は3月24日(水)です。

◆東大寺二月堂のお水取りが行われています。1260年以上、一度も休むことなく続く伝統行事で、これが終わると春が訪れるといわれています。「暑さ寒さも彼岸まで」、待ちわびた春はもうすぐそこまで来ています。

平成27年度は3月で終り、4月から平成28年度の行事が始まります。医師会でも新年度に於て、大阪府医師会始め、多くの地区医師会で役員改選、新執行部の発足があります。新年度が浪速区医師会にとりましても、明るい年度であるように祈りたいと思います。

— 桃花 春 風 に 笑 む —



目次	ページ
巻頭言	
"脈の日"をごぞんじですか?	
中山 博文	1
理事会報告(2月開催)	3
2月度学術報告	7
富永 良子	
4月度学術講演会のお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 山田郁子 中村泰久
印刷所 株式会社 サ ビ